

□ 主な内容

【全国のカーシェアリング実施規模の調査結果を公表】

エコモ財団は、2015 年 4 月に 3 月末時点の状況を調査し、わが国のカーシェアリング車両ステーション数、車両台数、会員数が引き続き増加しているという結果を公表しました。

【平成 27 年度エコドライブ活動コンクールへの参加者募集開始！】

エコモ財団は、エコドライブ活動について優れた取組みを行っている事業者を表彰する「エコドライブ活動コンクール」を開催し、参加者を募集しています。〔締切: 7 月 17 日(金)〕

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 106 回)

●「人口減少社会のネットワーク型コンパクトシティ」

【早稲田大学理工学術院社会環境工学科 教授 森本 章倫】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 106 回)

●「秋田市内で EV バス『Elemo-Akita』の実証運行」

【秋田県地域産業振興課 副主幹 黒田 逸人】

3. ニュース／トピック

●「交通・観光主要施策 2015」の発行について【東北運輸局】

●全国のカーシェアリング実施規模の調査結果の公表について【エコモ財団】

●平成 27 年度エコドライブ活動コンクール募集開始について【エコモ財団】

●MM 教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度について【エコモ財団】

●「都心と臨海副都心とを結ぶ BRT に関する基本計画」について【東京都】

●屋久島電気自動車普及促進支援事業について【鹿児島県】

●「はじめよう！地球に優しいエコ通勤・エコドライブ」の実施について【つくば市】

●平成 27 年度低公害車導入促進助成事業について【全日本トラック協会】

●「第 9 回 JAF みんなのエコ川柳」大賞決定について【一般社団法人日本自動車連盟】

●「TOYOTA i-ROAD」の実用化に向けた企業・生活者と共同で取り組む新たな施策について【トヨタ自動車株式会社】

●カーシェアリングサービス「タイムズカープラス」の秋田県でのサービス開始について【タイムズ 24 株式会社】

●ディーゼル排出ガスから港湾近辺の住民の健康を守る事業への助成について【アメリカ環境保護庁】

#### 4. イベント情報

- モビリティウィーク&カーフリーデー2014 報告会 &2015 説明会【2015/5/29】
- ITS あいち県民フォーラム 2015【2015/6/4】
- エコライフ・フェア 2015【2015/6/6-7】
- 交通権学会・生活バスちばにう共同シンポジウム【2015/6/7】
- スマートコミュニティ Japan2015【2015/6/17-19】
- 交通・観光カーボンオフセット支援システム 説明会【2015/7/21】
- 第 10 回日本モビリティ・マネジメント会議【2015/7/24-25】
- 第 22 回 ITS 世界会議ボルドー2015【2015/10/5-9】
- 第 5 回地域の交通環境対策推進者養成研修会【2015/10/28-30】
- 第 13 回 ITS シンポジウム 2015【2015/12/3-4】
- エコプロダクツ 2015(第 17 回)【2015/12/10-12】

#### 5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

---

---

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 106 回)

●「人口減少社会のネットワーク型コンパクトシティ」

【早稲田大学理工学術院社会環境工学科 教授 森本 章倫】

2050 年までに約 3000 万人の人口が消失し、それに伴って消滅する自治体が発生し、我が国はかつてない状況を迎えるのではと危惧されています。本当に我が国の都市は危機的な状況に陥るのでしょうか？現在の人口から 3000 万人減ると人口は約 9700 万人ですが、この人口は今から半世紀前の 1964 年の人口にほぼ等しくなります。1964 年といえば東京オリンピックが開催された年で、我が国は高度経済成長時代のなかでも五輪景気といわれる好景気を迎えていました。この時期の日本が危機的状況とは誰も思わないでしょう。つまり、人口が 3000 万人少ないことが問題ではなく、社会資本整備とのバランスに注目することが重要です。

オイルショックを迎え高度経済成長期が終わると、日本は安定成長期に入り、バブル経済を経験して、長引く平成不況へと突入します。経済の浮き沈みはありますが、我が国の人口は増え続け、それに対応すべく国土整備が行われ、市街地も郊外部に向けて拡大してきました。例えば、1964 年当時の一般道路の総延長は約 97 万 km ですが、2013 年現在では約 120 万 km と増加しています。人口が減少すると一人あたりの道路延長が伸びるため、渋滞緩和にはつながるかもしれませんが、一人あたりの維持管理費は増大することになります。整備した社会資本は道路に加え、橋梁、上下水道など多岐にわたります。人口減少に合わせて賢く都市のサイズを縮退させ、維持管理費を抑制することが大きな課題となっています。

しかし、低密に広がった市街地をコンパクトにまとめるのは大変です。民主的な国で強制的な移転は馴染みませんし、人が活動する限り社会インフラは不可欠です。そこで、提案したいのは「ネットワーク型コンパクトシティ」です。これは、都市の中の魅力を複数の拠点として集約(コンパクト化)し、それを多様な交通手段で連携(ネットワーク化)した都市です。街の中の魅力は沢山ありますし、それは街によって異なります。その場所は、歴史的な遺産を有する中心部だけでなく、良好な農村集落であったり、観光拠点や産業拠点であったりします。その魅力を育成しつつ、それらをつないでいくことで全体の効率性を高めることができます。つまり、魅力的な空間に機能を少しずつ集約させ、市場原理の中で住み替え行動を誘発させることが基本となります。一方で、縮退側のエリアを緑豊かな郊外に変化させる仕組みも重要で、増え続けている空き家や空き地の有効活用がその第一歩となります。

2014 年に都市再生特別措置法が改正され、ますますコンパクト化に向けた動きが加速します。まずは、自分の街で残したい場所を皆で話し合い、それを決めることが肝要です。

---

## 2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 106 回)

### ●「秋田市内で EV バス『Elemo-Akita』の実証運行」

【秋田県地域産業振興課 副主幹 黒田 逸人】

秋田県では、ディーゼルバスの電動化改造(EV化)を行い、平成 25 年 10 月 15 日より、バス事業者である秋田中央交通(株)の実路線で平日 1 日 1 回の営業運行を行っております。

この事業は、平成 23～27 年度の 5 カ年で行われている産業振興の事業であり、運営主体は、秋田県内の民間企業 12 社で組織した「あきた EV バス実証コンソーシアム」(代表：秋田いすゞ自動車(株))です。実路線で営業運行を行うことにより、「搭載製品の性能実証や改良及び電動バスに必要な機能の洗い出しと新製品の開発」に結び付けようとの取り組みとなっております。技術面は(独)産業技術総合研究所、秋田県産業技術センター等がサポートを行い、経済界(秋田商工会議所等)や行政(東北経済産業局、東北運輸局、秋田県、秋田市等)の支援も受けながら、秋田市内で実際に県民の皆様の足として利用されています。

当コンソーシアムでは、一般的な路線バスであるディーゼルバスと比較して、電動バスは走行 1km 当たりで CO<sub>2</sub>▲75g、Nox▲2g、騒音▲20db の削減効果があると試算しています。年間 51,000Km 走行した場合、3.83t の CO<sub>2</sub> 削減効果が見込まれます。また、電動バスは省エネ性能にも優れており、電動バスは 20 円/km(電気燃費 1km/1KWh、電気料 20 円/KWh)で走行することが可能で、ディーゼルバスの標準燃費コスト 60 円/km と比較して▲66%の低減効果があると試算しています。これら特性を考えると、将来的には環境負荷の少ない公共交通システムとして重要度が増してくるものと考えております。

また、本県は雪国、高齢社会といった地域特性があることから、無排気ガスの乗り物として屋内乗降可能な EV バスは、降雪地対策、コンパクトシティといったこれからの街作りに親和性の高い交通システムとして期待しているところです。

現在、EV バス「Elemo-Akita(エレモ・アキタ)」は、市内の営業路線で運行しておりますが、イベント用に県内外への貸出も行っております。また、本事業についてお問い合わせ等ございましたら、お気軽に一報下さいませようお願い致します。

#### 【連絡先】

秋田県地域産業振興課

TEL: 018-860-2246

E-mail: [induprom@pref.akita.lg.jp](mailto:induprom@pref.akita.lg.jp)



---

### 3. ニュース／トピック

#### ●「交通・観光主要施策 2015」の発行について【東北運輸局】

東北運輸局は、今年度実施する交通および観光分野の主要施策をとりまとめた「交通・観光主要施策 2015」を公表しました。交通分野では、過度に車に依存した生活からの転換を推進していくとともに、環境対応車の導入促進のための啓発・支援などを行い、環境対策の推進を図ります。

<http://www.ttb.mlit.go.jp/tohoku/ks/sesaku/ks-sesaku.pdf>

#### ●全国のカーシェアリング実施規模の調査結果の公表について【エコモ財団】

エコモ財団は、2015年4月に3月末時点の状況を調査し、わが国のカーシェアリング車両ステーション数は9,451カ所(前年比25%増)、車両台数は16,418台(同33%増)、会員数は681,147人(同46%増)と、引き続き増加しているという結果を公表しました。

[http://www.ecomo.or.jp/environment/carshare/carshare\\_graph2015.3.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/carshare/carshare_graph2015.3.html)

#### ●平成27年度エコドライブ活動コンクール募集開始について【エコモ財団】

エコモ財団では、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動を実施しています。この活動の一環として、エコドライブ活動について優れた取り組みを行っている事業者を表彰する「エコドライブ活動コンクール」が昨年度に引き続き開催されます。現在参加者を募集しており、申込期間は7月17日(金)までです。

<http://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

#### ●MM教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度について【エコモ財団】

エコモ財団は、モビリティ・マネジメント教育の実施に意欲的な教員に対して、ノウハウの提供や資金面での支援を行い、実施校の拡大と新たな教材事例の増加を図ることを目的として学校支援制度を実施しています。現在、平成27年9月30日(水)まで、平成27年度分の支援校を以下のホームページで募集しています。

[http://www.mm-education.jp/gakkou\\_sien.html](http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html)

#### ●「都心と臨海副都心とを結ぶBRTに関する基本計画」について【東京都】

東京都では、都心と臨海副都心とを結ぶBRTの基本計画策定に向け、「都心と臨海副都心とを結ぶBRT協議会」を設置し検討を進めてきました。このたび、運行・停留施設の考え方やルート案など、基本計画がまとまりました。今後は、運行事業者の公募・選定を行い、事業計画を策定していきます。

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2015/04/70p4s200.htm>

●屋久島電気自動車普及促進支援事業について【鹿児島県】

鹿児島県では、世界自然遺産の屋久島において、温室効果ガスの発生が抑制された先進的な地域づくりを促進するため、電気自動車の導入に対する助成を行います。

<https://www.pref.kagoshima.jp/ad02/kurashi-kankyo/kankyo/sougou/co2free/yakushimadennkizidouya1.html>

●「はじめよう！地球に優しいエコ通勤・エコドライブ」の実施について【つくば市】

つくば市では、環境モデル都市として「つくば環境スタイル“SMILe”」を推進しており、エコ通勤とエコドライブの推進のため、毎年エコ通勤ウィークを実施しています。今春は、5月18日～29日までの12日間、「はじめよう！地球に優しいエコ通勤・エコドライブ」を実施します。

<http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/14215/14657/017453.html>

●平成27年度低公害車導入促進助成事業について【全日本トラック協会】

全日本トラック協会は、環境問題に積極的に取り組み、低公害車の普及促進のさらなる発展を図ることを目的として、都道府県トラック協会に所属する会員事業者が、事業用低公害車を導入する場合に、通常車両価格との差額の一部を助成します。

[http://www.jta.or.jp/kankyo/teikogaisha/low-emission\\_vehicles/low-emission\\_vehicles15.html](http://www.jta.or.jp/kankyo/teikogaisha/low-emission_vehicles/low-emission_vehicles15.html)

●「第9回 JAF みんなのエコ川柳」大賞決定について【一般社団法人日本自動車連盟】

JAFでは、環境保全活動の一環として、川柳を通じて身近なエコ活動への意識を高めることを目的としたコンテスト「JAF みんなのエコ川柳」を今年も実施しました。昨年9月から今年1月中旬まで募集を受け付けたところ、前回の14,347句を大幅に上回る過去最高の21,220句が全国から寄せられました。句のテーマとして多く取り上げられたものは、例年同様、「エコバッグ」「電気自動車」「エコドライブ」などでした。

[http://www.jaf.or.jp/profile/news/file/2015\\_09.htm](http://www.jaf.or.jp/profile/news/file/2015_09.htm)

●「TOYOTA i-ROAD」の実用化に向けた企業・生活者と共同で取り組む新たな施策について【トヨタ自動車株式会社】

トヨタ自動車株式会社は、パーソナルモビリティ「TOYOTA i-ROAD」の本格的な実用化に向け、駐車・充電時の利便性の向上や「TOYOTA i-ROAD」の魅力を高めるパーツのカスタマイズ等において、特有の知見や技術を持つ企業および一般の生活者と共同で取り組む新たな施策を7月より約1年間東京都内で実施します。

<http://newsroom.toyota.co.jp/en/detail/7769855>

●カーシェアリングサービス「タイムズカープラス」の秋田県でのサービス開始について【タイムズ24 株式会社】

タイムズ24株式会社では、5月26日(火)より、秋田県においてカーシェアリングサービス「タイムズカープラス」の提供を開始します。秋田県におけるカーシェアリングサービスの提供はタイムズ24初となります。

<http://www.times24.co.jp/news/2015/05/20150518-1.html>

●ディーゼル排出ガスから港湾近辺の住民の健康を守る事業への助成について【アメリカ環境保護庁】

アメリカ環境保護庁は、港湾のディーゼルエンジンによる大気汚染を改善する4事業に、助成金として計500万ドルを拠出すると公表しました。船舶や港湾設備の大部分はディーゼルエンジンで稼働しており、多くの主要港は大都市の近くにあるため、高濃度のディーゼル排出ガスによる住民や港湾労働者への健康被害が懸念されています。この助成金は、カリフォルニア州、オレゴン州、ニュージャージー州、テキサス州の事業に提供され、ディーゼル排出量の多い旧式の設備をクリーンな新型設備へ交換するために利用されます。

<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/d0cf6618525a9efb85257359003fb69d/d5fa6c55b75d7ded85257e2e007504ec!OpenDocument>

---

#### 4. イベント情報

●モビリティウィーク&カーフリーデー2014 報告会 & 2015 説明会

日時: 2015年5月29日(金)18:00~20:00

場所: JICA 地球広場・セミナールーム 201AB

主催: 一般社団法人カーフリーデージャパン

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/88f8e9a27c277882f652dbeb58d2463b>

●ITS あいち県民フォーラム 2015

日時: 2015年6月4日(木)13:30~16:30

場所: 栄ガスビル5階 栄ガスホール

主催: 愛知県 ITS 推進協議会

<http://www.pref.aichi.jp/0000082385.html>

●エコライフ・フェア 2015

日時: (1日目)2015年6月6日(土)11:00~17:00

(2日目)2015年6月7日(日)10:00~17:00

場所: 代々木公園

主催: 環境省

<http://www.ecolifefair.go.jp/>

●交通権学会・生活バスちばにう共同シンポジウム

日時:2015年6月7日(日)13:00~

場所:中央駅前地域交流館「会議室5」

主催:交通権学会

[http://www.estfukyu.jp/pdf/EST\\_mailmagazine\\_vol.106\\_2.pdf](http://www.estfukyu.jp/pdf/EST_mailmagazine_vol.106_2.pdf)

●スマートコミュニティ Japan2015

日時:2015年6月17日(水)~19日(金)10:00~17:00

場所:東京国際展示場 東ホール(東京ビッグサイト)

主催:日刊工業新聞社

<http://www.nikkan.co.jp/eve/smart/index.html>

●交通・観光カーボンオフセット支援システム 説明会

日時:2015年7月21日(火)13:30~16:00

場所:アルカディア市ヶ谷 6階「伊吹(東)」

主催:エコモ財団

[http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon\\_offset/data/setumeikai\\_15.7.21.pdf](http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/data/setumeikai_15.7.21.pdf)

●第10回日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2015年7月24日(金)、25日(土)

場所:東洋大学 白山キャンパス

主催:一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.jcomm.or.jp/>

●第22回 ITS 世界会議ボルドー2015

日時:2015年10月5日(月)~9日(金)

場所:Congre et Expositions de Bordeaux

主催:TOPOS

<http://itsworldcongress.com/>

[http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid\\_100/bordeaux\\_2015/](http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/bordeaux_2015/)

●第5回地域の交通環境対策推進者養成研修会

日時:2015年10月28日(水)~30日(金)

場所:藤沢商会館ミナパーク 多目的ホール1ほか

主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団、関東運輸局

※参考:第4回地域の交通環境対策推進者養成研修会(富山)

<http://www.estfukyu.jp/training2014.html>



●第13回 ITS シンポジウム 2015

日時:2015年12月3日(木)、4日(金)

場所:首都大学東京

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、首都大学東京

[http://www.its-jp.org/event/its\\_symposium/its\\_symposium13/](http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium13/)

●エコプロダクツ 2015(第17回)

日時:(1日目)2015年12月10日(木)10:00~18:00

(2日目)2015年12月11日(金)10:00~18:00

(3日目)2015年12月12日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2015/>

---

## 5. その他

- EST パートナースHIP会員制度に参加する団体を募集しています！  
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。  
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。  
[http://www.estfukyu.jp/partnership\\_gaiyo.html](http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html)
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！  
<https://twitter.com/officeEST>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！  
配信申込はこちらから  
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ  
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！  
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！  
[http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon\\_offset/carbonoffset\\_system.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html)
- 記事募集中！  
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。  
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecomor.jp](mailto:magazine@ecomor.jp) (担当: 熊井)

---

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局  
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>